支援アクセス
拡大プログラム
概要資料

NPO法人OVA
info@ova-japan.org

「より多くの人に届けたい」
「必要としている人に届けたい」
の実現をサポートします

法人概要

法人概要

団体名　　特定非営利活動法人OVA（オーヴァ）
認証　　2014年7月18日
代表者　　代表理事 伊藤次郎
職員数　　9名（内：常勤3名・非常勤6名）
事業規模　3,500万円（2018年度）

事業内容

- 自殺対策事業（相談事業・研修事業）
- アウトリーチ事業（研修事業・ コンサルティング事業）
- ソーシャルアクション（啓発・研究・政策提言等）

ミッション

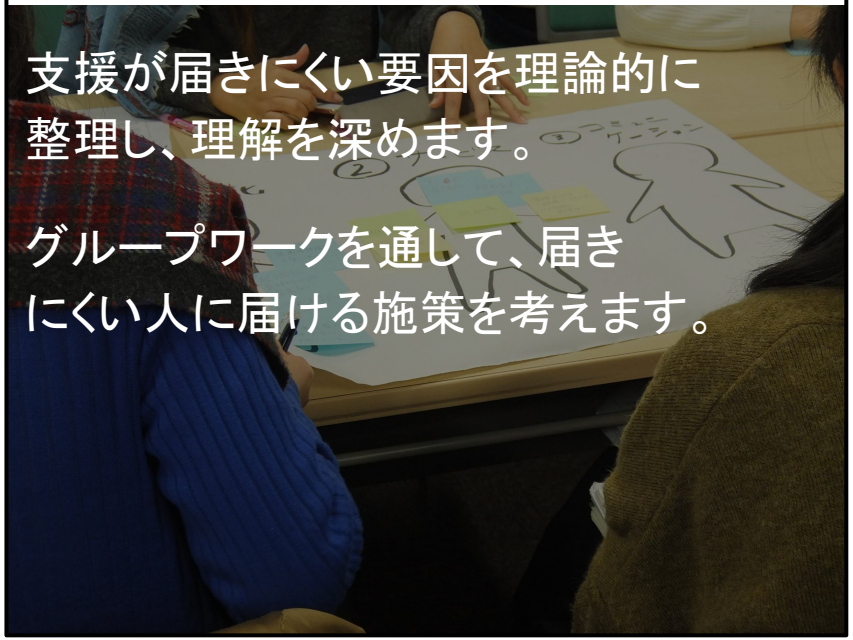
他者の痛みに無関心ではない愛あるかかわりあいの世界を目指す

ビジョン

支援へのアクセスを阻害するあらゆる障壁をとりのぞき、
誰もが支援にアクセスできるフラットな社会システムを創造する。

ご提供できること

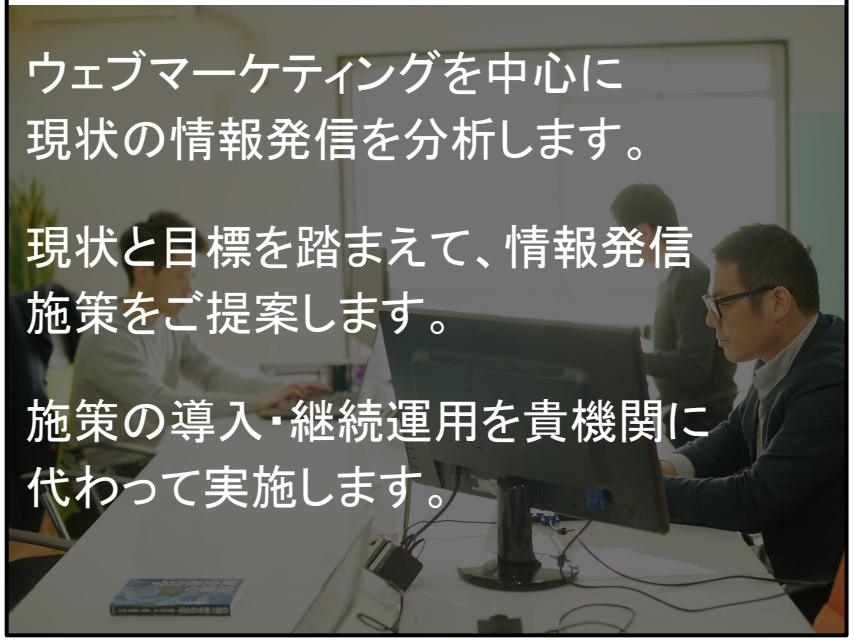
依頼研修



支援が届きにくい要因を理論的に
整理し、理解を深めます。

グループワークを通して、届き
にくい人に届ける施策を考えます。

情報発信コンサルティング



ウェブマーケティングを中心に
現状の情報発信を分析します。

現状と目標を踏まえて、情報発信
施策をご提案します。

施策の導入・継続運用を貴機関に
代わって実施します。

依頼研修

自ら支援につながりにくい方に支援を届ける方法について
調査に基づいた研修を通して理解を深めます。

実績

自主開催（2019年1月31日）
「若者のSOSを受け止めるアウトリーチの作り方」
公的機関・NPO・社会福祉法人から、生活困窮、若者支援、自殺対策等に関わる支援関係者35名に参加頂きました。

厚生労働省（2018年8月9日）
全国婦人相談所長及び婦人保護主管係長研究協議会

「若い女性の『声なき声』を受けとめる―支援を積極的に届ける方法について―」

所要時間

2時間～4時間

参加想定者

保健師、社会福祉士、看護師等の支援職者
NPO、公的機関、社会福祉法人等の職員

参加者の感想

- 情報発信の枠組みを理解できた
- 事例が多く理論を想像しやすかった
- 情報発信立案の過程を模擬的に経験できた

費用

50,000円／回＋交通費

研修の開催例

若者のSOSを受け止めるアウトリーチの作り方

若者支援に関わる方向けの研修です。
SOSを出しにくい若者の理解を深め、支援につなげる施策づくりを行います。

研修内容

第1部　なぜ若者のSOSは届かないのか
「助けて」と言えない心理と社会の要因

第2部　これまでとこれからのアウトリーチのあり方

第3部　アウトリーチを考える際の3つのポイント
既存の事例の紹介

第4部　グループワーク
若者のSOSを受け止めるアウトリーチ策を
グループで企画する

このような方におすすめ

- 効果的なアウトリーチの実施を考えている方
- 公的機関、社会福祉法人、医療機関、NPO等で若者支援に関わる方
- 児童虐待防止、子育て支援、DV被害者支援、自殺対策、生活困窮者支援、医療支援等に関わる方
- 支援が届いていない若者に、支援を届けたいと考えている方

講師
伊藤 次郎



NPO法人OVA 代表理事
精神保健福祉士

学習院大学法学科卒業。人事コンサルティング 会社(EAPプロバイダー)、精神科クリニックでのうつ病復職支援など「働く人のメンタルヘルス対策」に従事。

2013年6月末にマーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者のリーチしようと「夜回り2.0(インターネット・ゲートキー パー)」の手法を開発・実施し、NPO法人OVAを設立。

国内外で講演・論文投稿も積極的に行っている。日本財団「ソーシャルイノベーター」選出（2016）。自殺総合対策東京会議 委員(平成29年度~現在) など、複数の自治体の自殺対策計画づくりに携わる。

2017年に起きた座間市の事件後には、ロサンゼルスタイムズ、朝日新聞「社説」など国内外のマスメディアに、活動と提言が多数掲載された。内閣官房の有識者ヒアリングや関係省庁への要望書を通じて、ネット上にあふれる若者のSOSの現状とニーズに合わせた相談窓口設置の重要性を国に直接訴えた。

過去のアウトリーチ研修開催例

厚生労働省
全国婦人相談所長及び婦人保護主管係長研究協議会
「若い女性の『声なき声』を受けとめる
ー支援を積極的に届ける方法についてー」

ネット相談の活用方法や、効果的なアウトリーチの考え方について講義。

開催詳細

開催日：2019年1月31日（木）
13:00~17:00
参加費：無料
定員　：50名（1団体2名様まで）
場所　：新宿区高田馬場4-36-12
新宿NPO協働推進センター

お申込み方法

メールもしくはお電話にてお申込み下さい。
件名：1月31日研修申し込み
本文：参加者氏名・ご所属・当研修をどこで知ったか

メールアドレス：info@ova-japan.org（担当：土田）
電話番号：03-5358-9580

主催
特定非営利活動法人 OVA
東京都新宿区高田馬場 4-1-7
市川ビルデンス501

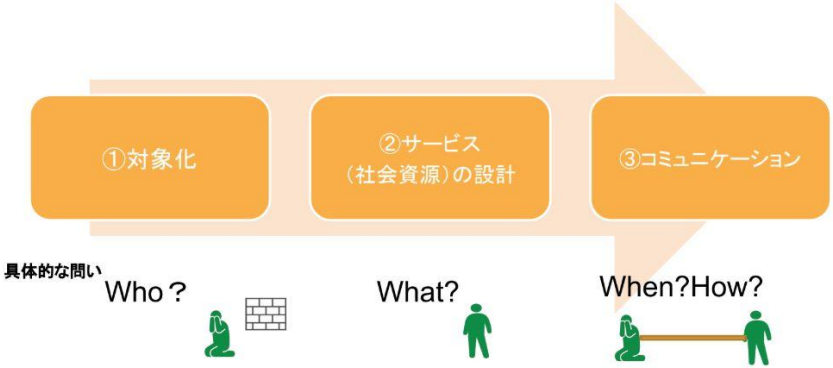
OVA

研修資料の一例

プレ・アウトリーチとアウトリーチの比較

プレ・アウトリーチ		アウトリーチ
見えない当事者	対象者	相談者
前	（支援・援助への）申請	後
無	発見	有
支援を必要としている人が、最適な支援につながるようにアクセシビリティを高める施策を行うこと	意味	訪問する／支援者が直接出向く
夜回り2.0(自殺ハイリスク者／検索連動広告) SNS相談（いじめ／インターネット相談） ハイリスク者の抽出（自殺念慮／人工知能）	具体例	訪問診療・訪問看護 ACT・オープンダイヤログ

プレアウトリーチ策定のためのフレームワーク

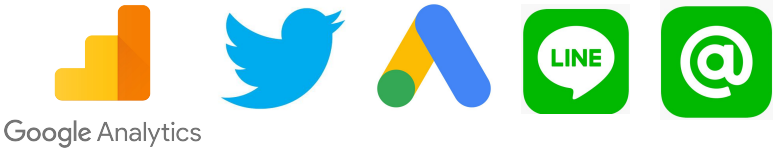


情報発信コンサルティング

対象者をふまえた最適な情報発信をお手伝いします

お手伝いできること

支援が必要な方への情報発信の分析と評価
定量的な分析・評価の導入
ウェブを中心とした情報発信の立案・実行



対象

支援が届いていない層に届けたいと考えている、
対人支援に関わる支援機関

実施実績

- NPO法人ライトハウス
- NPO法人しあわせなみだ
- 認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク
- 生活困窮者支援に関わるNPO
- 全国の都道府県（自殺対策部門）
- 都内の市区町村（自殺対策部門）

費用

150,000円～を目安とさせて頂いています。
別途ご相談下さい。

実施例

Google検索に広告を掲載
デザインを改定した窓口案内サイトへ誘導



Twitter、Google検索に広告を掲載
新しく制作した相談サイトへ誘導



ご提供できること

	研修	コンサルティング	コンサルティング ＋施策の実施代行
効果	● 届きにくい要因を体系的に理解 ● 届けるための施策をグループで検討 ● ネット相談の技法の研修	● 現状の情報発信の分析 ● 支援を届けたい対象のヒアリング ● アクセス向上の施策をご提案	コンサルティングに加えて ● 施策の導入と継続的な実施 ● 定期的な報告と改善のご相談 ● 施策の定期的な改善
期間	1回2時間～4時間	2週間～3か月	3か月～12ヵ月
実績	● 自主開催実施 ● 厚労省依頼実施	―	● NPO法人ライトハウス ● 認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク ● NPO法人しあわせなみだ
費用	50,000円＋交通費	150,000円～	300,000円～
必要な作業	日程の確保 会場の準備	対面もしくはオンラインでの打ち合わせを数回実施	初期の数回の打ち合わせに加えて定期的な打ち合わせ

代表者プロフィール

伊藤次郎
NPO法人OVA（オーヴァ）代表理事 。精神保健福祉士。

学習院大学法学科人事卒業。企業にメンタルヘルス対策を提供する
コンサルティング会社（EAPプロバイダー）を経て、精神科クリニックにて復職支援（リワーク）に従事。
2013年6月末に「インターネット・ゲートキーパー（通称：夜回り2.0）」の手法を開発・実施。2014年にNPO法人OVAを設立。

- 厚生労働省委員
  - 自殺総合対策の推進に関する有識者会議(平成31年～現在)
  - 若者に向けた効果的な自殺対策推進事業検討委員会（平成30年～現在）
- 日本財団「ソーシャル・イノベーター」選出（2016）
- AERA「社会起業家54人」（2018）

お問い合わせ先
事務局　土田
info@ova-japan.org
03-5358-9580